

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678300106		
法人名	社会福祉法人 愛心会		
事業所名	グループホームやくしま		
所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町原914番地23		
自己評価作成日	平成23年 5月23日	評価結果市町村受理日	平成23年9月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kagoshima-kaigonet.com
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号
訪問調査日	平成23年6月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

可能な限り、ご利用者のペースで生活していただけるように、ケアを実践しております。また、ご家族さまへのご報告・連絡・相談を徹底しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

流石に緑深い世界自然遺産の屋久島の南に位置し、同法人の通所介護施設が隣接している所にグループホームやくしまはある。デッキからの自然豊かな風景が庭という羨ましい環境の下、スタッフは生活自立能力を引き出しその人らしい人生のお手伝いを理念の一つに掲げ、試行錯誤しながら日々のケアに努めている。利用者が玄關やダイニング等何処でも思い思いの場所でくつろげるよう椅子やソファが配慮され風通りの良い造りである。母体が医療機関であることから、必要な医療や健康管理など随時受けられ、事業所から家族への徹底された報告もあり、家族が安心できる体制である。管理者はこれまでの業務のあり方を振り返り、サービスの向上のため、書式の見直しを含む改善を検討中である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に、A棟B棟合同にて、管理者職員は理念の唱和をおこない、理念の共有を図り、常に入居者様とのかかわりの中で、支援に取り組んでおります。	職員で作成した独自の理念を、2ユニット合同で朝礼時唱和し、理念の共有を図り意識しながら日々の業務につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近くの公園への散歩途中の挨拶や、地区の夏祭りに参加し、地域の方との交流に努めております。	小学校、地域の運動会などに見学や参加し、日常的な散歩、買い物で地域の人たちと挨拶を交わしたり話している。近隣の人より野菜の差し入れ、読み聞かせや散髪ボランティア訪問などがあり地域との交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等や職員の講習会などを通じて、認知症の方の理解や支援方法を地域の人々に向けていかすよう、さらに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、区長・民生委員・行政等から地域の情報を頂いたり、消防避難訓練などのアドバイスや助言等、会議での意見をサービスの向上に活かしております。	会議は定期的に開催し、入居状況、活動報告をしメンバーから情報、意見をもらいサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや福祉事務所とはホームの入居状況などの意見交換を行っており、町の担当者とは連絡を取り合いながら、協力関係を築くよう取り組んでおります。	困りごとなどを地域福祉課・福祉事務所へ相談に出向き助言、指導を受けケアに反映させている。又利用者の暮らしぶりやニーズを伝え連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠、行動制限等、身体拘束をしないケアに取り組んでおります。	身体拘束についてのマニュアル、高齢者虐待法などを職員会議で活用し共有認識を図り、利用者が外出しそうな様子を察したら止めるのではなく、声をかけたり一緒に出かけ安全面に配慮して自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の勉強会や職員同士注意を払い、虐待防止に関しては、十二分に徹底しております。		

自己評価	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の職員は勉強しておりますが、現状ではまだ不十分であります。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、契約に関する十分な説明を行い、理解・納得を図っております。	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	話しやすい雰囲気作りを行い、ご家族様からの意見・その他助言等を活かせるようにしております。	家族とは面会時、電話などで常に聞く姿勢で接している。出された意見などは管理者が其の時点で対応、又職員会議で話し合い反映させている。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や、意見交換が述べやすい雰囲気作りを実践し、改善できる部分に関しては、可能な限り改善するように努力しております。	職員会議は話しやすい雰囲気でもコミュニケーションを図れるように心がけ、職員からの意見や提案は運営に反映されている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や、給与水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるように、就業環境の整備に努めております。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	島内外での研修への参加、業務を行いながらの人材育成に取り組んでおります。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所訪問等を通じて、同業者との交流を行い、お互いのサービスの質の向上に取り組んでおります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様との会話に努め、話やすい雰囲気作りを心がけ、信頼関係構築に取り組んでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様から相談しやすいように、近況の状態などの報告を行ったり、お話をさせて頂きながら、不安・要望等に耳を傾けながら関係作りを努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の現状を判断し、必要がございましたら、他の施設等へのご紹介をさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の思いや、不満、喜びを共に分かち合い、意思を尊重し、協働しながら生活を送れるように、場面づくりや言葉かけをおこなっております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状のご報告を通じて、入居者様と共に支えあう関係の構築に務めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域で過ごした生活暦を尊重し、馴染みの暮らしを大切に、地域との関わりや、関係が途切れないよう支援に努めております。	利用者の馴染みの人や場所について把握している。利用者の知人が気軽に面会できる工夫や、親せきの家訪問や墓参りなど継続的な支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で、レクリエーション、外出、会話を通じて、入居者様同士の関係をよりよいものにしてゆくための支援に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に入居された方のもとへ、面会に伺ったり、家族様より連絡があった場合には、相談等にも応じて、フォローさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様一人ひとりの思いや暮らし方、意向を把握し利用者様本位に生活していただけるように努めております。	日々のかかわりの中で利用者の様子の変化を察した場合、声かけをして本人の思いや意向の把握に努めている。把握したことについては具体的な記述で活動記録に記録し職員間の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	地域で過ごした生活歴を尊重し、馴染みの暮らしを大切に、これまでのサービス利用の把握・ケアに努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のパターンやリズムを理解し、行動・動作・表情からの把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族、関係者、職員等での話し合いや、職員間で課題とケアのありかたについて、それぞれの意見アイデアを反映し、現状に即した介護計画作成を行っております。	利用者の意向や希望を第一に考え、家族の意向、職員の意見やアイデアなどを反映させ、現状に即して介護計画を作成しているため、職員はすべての利用者の介護計画を意識し日々のサービスを行っている。モニタリングは3か月毎に実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の1日の過ごされ方、実施したサービスを個別記録に記入し、職員間での情報や連絡ノートで確認し、介護計画の介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様や、ご家族様の要望に応じ、柔軟な支援やサービスに取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域とのかかわりを支援し、ご本人様が心身の力を発揮できるよう、安全で豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望を大切に、適切な医療を受けられるように支援しております。	本人、家族の希望するかかりつけ医で家族や職員が同行受診している。受診後は主治医からの情報を家族には書面等で伝え、職員は病院受診、往診カードや申し送り情報で情報を共有し支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は情報や気づき、変化を常に把握し、訪問看護師等に伝え、入居者様が適切な受診や、看護を受けられるよう、日常の健康管理の支援をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけの先生をはじめ、屋久島徳洲会病院や尾之間診療所との情報交換や、相談に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化や終末期を迎えた場合につきましては、医療機関にての対応になることを十分に説明し、同意を得ております。	重要事項説明書に看取りに関して明文化し、入居時に重度化、終末期ケアを迎えた場合は主治医の判断で医療機関対応になることを利用者、家族に説明し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に対するの応急手当や対応の訓練は、研修を受講し実施しているが、定期的に取り組んでゆきたいと思っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を通じて、消防所はもちろんのこと、近隣住民との協力体制を築いております。	年2回の消防避難訓練・年1回の地域避難訓練をしている。近隣の方へ誘導の協力をお願いしている。災害時の避難先はゴミステーション集合し、地域の小学校・公民館が利用できる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしています。	利用者の気持ちを大切にさりげないケアを心がけ、自己決定しやすい言葉かけに努めている。管理者は日常の言葉かけについて会話で気づいた時はその場で注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様との会話の中で、思いや希望を表現、自己決定できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日をどのように過ごしたいか？一人ひとりのペースを大切に、希望にそって支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服など、ご自分で選んで頂き、その人らしい身だしなみや、おしゃれができるよう支援しております。散髪等も希望に添って支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に採ってきた山菜など一緒に下ごしらえをしたり、好みの味付けや料理方法も聞きながら、楽しく食事ができるよう努めております。片付けも出来る限り手伝っていただいております。	調理は職員が行うが皮むき、準備、台拭き、下膳などは利用者と職員が一緒に行いながら楽しく食事できるよう雰囲気づくりも大切にしている。職員による手作りのおやつが楽しみの一つにもなっている。又、栄養士のアドバイスも受けながら支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのその日の体調や希望により、量などの調整を行い、水分食事摂取、習慣に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを言葉かけ、状態に応じて介助にて実施しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	言葉かけを実施しながら、時間や量の把握のためチェック表で確認しながら、排泄の自立支援に努めております。	自尊心に配慮し、自室トイレでの排泄を大切にしながら、一人ひとりの排泄記録で排泄パターンの把握をしている。おむつの人も昼間はリハビリパンツを着用し、職員は排泄パターンを活かしながら声かけ誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	軽度の運動や散歩などを実施し、水分補給や食事等にて対応しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴と定めておりますが、希望があればいつでも入浴できるよう支援しております。	週3回の入浴と決めているが、希望があれば利用者の入浴したい日や時間に合わせ一人ずつ希望に沿った入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムに応じ、休息したり、安心して良く眠れるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルで使用目的、副作用、用法、用量を把握し、服薬時は手渡し、確認を行い症状の変化の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や役割、楽しみごとを職員と一緒に楽しんでいます。さらに、支援に努めていきたいと思っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調やその日の天気により、散歩・ドライブ・買い物・花見や遠足など、地域の方の協力を得、出来る限り、でかけられるよう支援しております。	敷地内外の散歩、ゴミだし、買い物は日常出かけている。地域行事への参加や外食にも出かけている。弁当持参で花見、ドライブなど積極的に外出している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の理解の下、ご自分で所持され、希望に応じ、買い物の際に使えるように支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の希望により、居室に電話を引かれており、ご家族様とお話をされたり、希望があれば知人と話されたり、手紙のやり取りができるよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いリビングでTVを視聴されたり、ゲームをされたり、お茶や食事をゆっくり召し上がられたり、外の景色や花を眺められ季節感を感じ、居心地よく過ごせるような工夫を支援しております。	季節の花や写真などを飾り季節感を感じる。畳の間で横になったり、廊下にソファ・椅子があり、広いリビングでテレビを見るなどいつでもくつろげる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にベンチを置いたりして、独りになれたり、気の合った利用者同士でおしゃべりをされたりする居場所の工夫を支援しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや、好みのものを持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるような居室になるよう、ご家族様とも相談しながら努めております。	利用者は自宅から寝具やテレビ・写真・時計・椅子などの思い出の品々が持ち込み、又花の写真を室内の壁に貼るなどそれぞれの利用者の住み慣れた部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや洗面所等、安全でかつ自立した生活が送れるよう工夫し支援しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

No.	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に、理念の唱和を行い、理念に基づき日々業務に取り組んでおります。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で行われる行事等への参加見学、ホーム内での行事に地域の方、ご家族様に参加して頂くなどし、地域との交流に取り組んでおります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等を通じて、認知症の方の理解や、支援の方法を地域の人々に向けて、さらに活かしてゆけるように努めてゆきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、区長、民生委員、行政等から地域の情報を頂いたり、消防避難訓練などのアドバイスや助言等、会議での意見をサービスの向上に活かしております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや福祉事務所とは、ホームの入居状況などの情報交換を行っている。町の担当者とは、連絡を取り合いながら、協力関係を築くよう取り組んでおります。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠、ベッド柵、行動制限等、身体拘束をしないケアに取り組んでおります。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉遣い等に対しても、職員同士注意を行い、虐待の防止に関しては、十二分に徹底しております。		

項目	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等に参加させて頂いておりますが、現状ではまだ、不十分であります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、契約に関する十分な説明を行い、理解納得を図っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者や、ご家族様からの意見、不満、苦情等がある場合におきましては、職員間で十分に話し合いを行い、出来る限りご希望に添えるように対応しております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、職員間での会議を行い、運営・ご利用者へのサービスについて話し合うなど、職員の意見を取り入れながら、運営・サービスの向上に努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や、給与水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるように、就業環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	島内外への研修の参加、職員会議での勉強会、日々の業務を通しての人材育成に取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会、他施設訪問を通じて、同業者と交流する機会を持ち、サービスの質の向上に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者との会話に努め、話しやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係構築に取り組んでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様から相談しやすいように、近況の状態などの報告を行ったり、お話をさせていただきながら、不安・要望等に耳を傾けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者の状況を判断し、ご本人、ご家族様の希望などがあれば、他のサービス等への紹介を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いや、不満、喜びを共に分かち合い、意思を尊重し、協働しながら生活が送れるように場面づくりや言葉かけを行っております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの報告書、ご利用者、ご家族様のご希望で連絡を取り合うなどの支援を行い、ご家族様と共に、ご利用者を支えてゆけるよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者の受入れや、各出身地域で行われている行事への参加、見学等をおこない、馴染みの方々との関係が途切れないよう努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で、ご利用者同士の関係を把握し、よりよい生活を送れるよう支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ入居された方のもとへ面会に伺ったり、必要に応じてご本人、ご家族様の経過をフォローし、相談や支援に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、日々をその人らしく過ごしていただけるよう支援しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様に生活歴や馴染みの暮らし方を伺い、ご本人の意向に添った生活ができるよう支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の希望・要望を取り入れ、ストレスを感じない生活を送って頂けるよう支援しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族様の希望、要望に応じ、職員間で話し合いを行い、意向を取り入れた介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者の1日の過ごし方、実施したサービス内容を記録し、職員間で共有しながら日々サービス向上に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様の希望・要望に応じたサービスを提供するように努めております。		

自己評価	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の意思を尊重し、心身の力を発揮できるように、安全で豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族等の希望を大切に、適切な医療を受けられるように支援しております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常のかかわりの中で捉えた情報や、気づきを看護師に伝え相談し、個々のご利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関の屋久島徳洲会病院や、尾之間診療所との情報交換や相談に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化や終末期を迎えた場合につきましては、医療機関にての対応になることを十分に説明し同意を得ております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に対するの応急手当や、対応の訓練は研修を受講し実施しているものの、定期的の実施したいと考えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練などを実施し、ご利用者が安全に避難できる方法を職員が身につけるとともに、地域住民の協力体制を築いております。		火災の昼夜、地震風水害などあらゆる災害の想定で自主訓練や研修を行い、あわてず対応できる備えを望みます。又災害時の物品の備えも検討していただきたい。

目次	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かえや対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者が気兼ねなく、自分思いを話せるよう、信頼関係の構築、雰囲気作りに努め、日々を満足して過ごして頂ける様支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活スタイルを理解し、できることはご自分で、できないことはスタッフが支援し、ストレスのない生活を送れるよう支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時に、ご本人に希望を伺い、その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう、支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご希望を伺い、嗜好品を取り入れたメニュー作成に取り組み、調理時には味見などをして頂くなど、食事や調理を楽しむことのできるよう支援しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者の希望により、量などの調整を行い、食事・お茶の時間を通し、食事・水分摂取を働きかけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア・夕食後の義歯洗浄を行い、口腔内の清潔保持に努めております。		

目次	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの残存能力、排泄パターンを理解し言葉かけを行いながら、安心して自立での排泄を行えるよう、可能な範囲内で支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて、便の量の確認を行い、状況に応じて飲食物の工夫を行っております。その他ホーム内での運動、屋外での活動などを通じて、個々に応じた予防に取り組んでおります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴と定めており、希望に応じて午前・午後問わず実施しております。ご希望があれば入浴日以外でも、入浴できるように支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じ、安眠・休息ができるよう、環境、雰囲気作りに努めております。夜間眠れないという方がおられる場合は、話に傾聴し安心して休んでいただけるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の服薬ファイルで内容の把握ができるように支援しております。また、内服時は、ご利用者の状況に応じ支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの残存能力を活かし、希望を伺い、スタッフと一緒に作業・レクリエーションなどを行いながら、ご利用者が満足した日々を過ごせるよう支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのご希望に応じ、外出、買い物、外食に出かけるよう支援しております。天気の良い日などは、ご利用者全員で外出を行い、気分転換等の支援をしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者一人ひとりのご希望に応じ、お金を所持したり、買い物、飲食などの支援を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により、ご家族様、知人に電話をかけたり、手紙のやり取りができるよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、季節を取り入れた飾り物、献立表などを掲示し、居心地よく過ごせるよう支援しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者の性格、関係性を把握し、一人ひとりが自由に、もしくは気の合った人同士過ごせるようテーブル・椅子・ソファなどの配置を工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が居心地よく過ごせるよう、ご希望を伺い、使い慣れた私物や、趣味を生かし、ご自宅と変わらない雰囲気でご過ごせるよう支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	ご本人に希望を伺い、残された力で、安全かつストレスのない、自立した生活を送れるよう支援しております。		